

スプリンクル 施工・取扱説明書

対象製品番
G215SO / G15ASO / G15TSO

ご使用の前にこの説明書をよくお読みのうえ、
正しくご使用下さい。

- お客様へ
お読みになった後は、お使いになる方がいつでも
読める所に必ず保管して下さい。
- 工事店様へ
施工後、この説明書をお客様へお渡し下さい。

施工について

施工に関する安全上のご注意

- ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果（傷害・物損）に結びつく可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守って下さい。
- 施工完了後、試験運転を行い異常がない事を確認すると共に、工事店様は説明書に沿ってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明して下さい。

用語および記号の説明

- 警告** 「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じる事が想定されます。」
- 注意** 「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害が発生する危険な状態が生じる事が想定されます。」
- ⚠ 「注意下さい！」（上記の「注意」と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項を守って下さい。）
- 🚫 「してはいけません！」（一般的な禁止記号です。）
- 🔪 「分解してはいけません！」
- 🚫 「指示した場所に触れてはいけません！」
- 👉 「指示通りにして下さい！」（一般的な行動指示記号です。）

⚠注意

- 🚫 修理技術者以外の方は、水栓柱本体内部を分解しないで下さい。故障や水漏れの原因になります。
- 🚫 凍結が予想される地域では必ず水抜き栓を設置して下さい。凍結破損で水漏れし、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- 👉 配管の深さは各自治体ごとに決まり（凍結深度）がございます。100mmより深い場合は指示に従って下さい。浅いと凍結による管破損などの可能性があります。
- 👉 散水用です。飲用などの用途には使用できません。

施工について

適切な使用条件

〔水圧について〕

給水圧力	最低必要水圧（流動時）	最高使用水圧（静止時）
	0.05MPa	0.75MPa

- 給水圧力が0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁などで0.2~0.3MPa程度に減圧して下さい。

〔水質・用途について〕

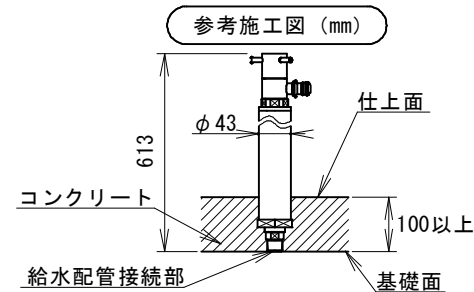
使用可能水質	水道水及び飲用可能な井戸水
用途	散水用

施工について

施工手順

1 設置場所の確認

給水配管の位置を確認する。

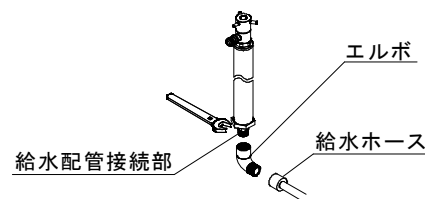


⚠注意

- 水栓柱は住宅の基礎面上に設置して下さい。
- P C板などの十分強固な上に設置して下さい。
- 配管の深さは各自治体ごとに決まり（凍結深度）がございます。100mmより深い場合は指示に従って下さい。

2 水栓柱の取付け

水栓柱を所定の位置に立てかけ、給水配管を接続する。



⚠注意

- 取付け前に必ず通水し、配管内のゴミを洗い流して下さい。
- 接続の際は、給水配管接続部がまわらないように、スパナ等の工具で掴んで接続して下さい。

3 通水点検

蛇口の施工後に水が流れるか、止水できているかどうかを点検します。このとき、蛇口を全開し、管内のゴミを取り除く為に、約30~60秒間勢いよく通水を行って下さい。水がでない・止まらない一番の原因が『蛇口の施工時に発生したゴミ等が止水部に詰まる為』ですので、蛇口止水部のゴミをピンセット等を用いて、丁寧に取り除いて下さい。

ご使用について

ご使用に関する安全上のご注意

ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果（傷害・物損）に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守って下さい。

警告

- 小さいお子様だけのご使用は、避けて下さい。
やけど・けがををするおそれがあります。

注意

- 製品に強い力や衝撃を与えないで下さい。
故障や水漏れの原因になります。
- 分解は、保守・点検の決められた項目以外はしないで下さい。
器具が破損し、けがをしたり、水漏れで家財などを濡らす
財産損害発生のおそれがあります。
- 吐水口先端に重いものを下げたり、力をかけて回したりしないで下さい。
磨耗、変形などでパッキンの寿命が短くなり、吐水時に吐水口部から微少の
水がにじみ出るおそれがあります。
- 解氷機やアースを水栓に通電しないで下さい。
水栓が発熱で破損し、家財などを濡らす財産損害発生のお
それがあります。

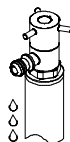
ご使用について

凍結予防

凍結のおそれがある場合は、次の処置によって凍結を予防できる場合があります。

- 水栓より少量の水を出して下さい。
（目安として1分間に牛乳ビン1本程度）
※凍結による破損は保証期間内でも有料修理となります。

少量の水を出すなど



日頃のお手入れ

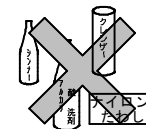
汚れの拭き取り

製品についた汚れを放置しておく、と、汚れが落ちにくくなる場合があります。快適にお使いいただくために、日頃のお手入れをおすすめします。

- 柔らかな布で水拭きして、よくしぼった布で汚れを拭き取って下さい。
- 汚れが目立つときは、中性洗剤を柔らかな布にふくませて拭き取った後水拭きして、よくしぼった布で汚れを拭き取って下さい。

注意

- 次のものは使用しないで下さい。変色や傷みのおそれがあります。
 - 酸性・アルカリ性および塩素系の洗剤類
※特に酸性洗剤はメッキを侵します。
 - ベンジン・シンナー・ラッカー・アルコールなどの溶剤や油類
 - クレンザーなどの粒子の粗い洗剤
 - ナイロンたわしなど



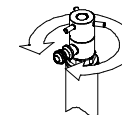
定期的な点検

可動部分の点検

可動部分が固くて動きが悪い場合は、水あか固着や潤滑剤切れです。放置すると故障の原因になりますので、工事店様に修理をご依頼下さい。吐水口の点検については下記を参照下さい。

日頃から、ときどき吐水口を回して下さい。（月1回を目安）

- 吐水口を長期間回さずに使用すると水あかななどが付着し、
無理に回そうとすると、水漏れ・異音の発生の原因にな
ります。
- 吐水口が回らなくなった場合は、工事店様に修理をご依頼下さい。

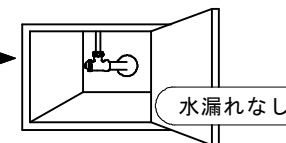


定期的な点検

配管周りの水漏れ・器具のガタツキ

- 定期的に、配管周りの水漏れがないか確認して下さい。（年2回を目安）
- 定期的に、器具のガタツキがないか確認して下さい。（年2回を目安）
- 劣化・磨耗などで部品が破損し、やけど・けがをしたり、水漏れして家財
などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

確認



水漏れを確認した場合は、配管中の元栓を閉めて下さい。